

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年7月前半）

1. 経済

- 2014年第1四半期の経常収支は431百万ユーロの黒字（前年同四半期は459百万ユーロの黒字）。（1日付中央銀行プレスリリース）
- 2014年第1四半期の経済成長率速報値は前年同期比+3.8%（2013年第4四半期比は+0.8%）。（1日付統計局プレスリリース）
- 当国所在企業のうち、2014年1月1日時点で従業員数が最も多いのはアルセロール・ミタルグループ（4,600名）、2位はBGL BNPパリバグループ（4,060名）、3位はカクタスグループ及びポストグループ（3,990名）。なお、当国政府は26,883名を雇用している。（2日付統計局プレスリリース）
- ICT関連イベントであるICTスプリングが3日及び4日に開催され、日本からはスタートアップ企業が11社参加。なおベテル首相のスピーチにて、同イベントに参加したクラウド型ビジネスチャットツール開発を行う日本企業であるChatwork社がルクセンブルクに欧州拠点設ける予定である旨紹介。（2日付ヴォルト紙電子版及び4日付政府公報）
- 2014年6月のインフレ率は年率0.9%（前月は同1.0%）。（9日付統計局プレスリリース）
- NPO法人フェアトレード・ルクセンブルクによると、ルクセンブルクにおける一人当たりのフェアトレード商品消費量は世界第6位。（9日付ヴォルト紙電子版）
- 欧州統計局によると、2013年にEU加盟国のうち最も人口増加率が高かったのはルクセンブルクで、自然増加率が4.2‰（当館注：パーミル（千分率））、社会増加率が19‰であった。（10日付ペーパージャム誌電子版）
- ICT関連の業界団体であるICT Luxembourgが14日に発足。（15日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- スクーク（イスラム債）発行を可能とするための法案が9日に国民議会で可決。（10日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- 中国工商銀行（ICBC）、英金融専門誌であるユーロマネー誌により「Best Bank in Luxembourg」に選出。（12日付ル・コティディアン紙）
- イタリア系保険会社ゼネラリ社、ルクセンブルクに資産管理会社General i Investments Luxembourg社を設立する旨発表。（14日付ヴォルト紙電子版）
- 保険監督局（CAA）によると、2013年当国保険セクター全体の保険料

収入は前年比▲４．３１％、税引後利益は同▲２７．２６％。（１５日付ル・コティディアン紙）

３．政府

●グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ（７日）及びＥＵ財務相会合（８日）に出席。（７日付財務省コミュニケ）

●ユンカー前首相、１５日に欧州議会にて次期欧州委員長として承認。（１５日付ヴォルト紙電子版）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。